

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
東北歯科技工専門学校	昭和40年4月1日	渡邊奈美	〒982-0841 宮城県仙台市太白区向山四丁目27-8 (電話) 022-266-0237			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
五十嵐一行	昭和40年4月1日	五十嵐洸一	〒980-0815 宮城県仙台市青葉区花壇7-15 (電話) 022-222-6857			
目 的	近年高齢社会の急激な進展に伴い、高齢者の口腔内における質的な衛生状態の保存や、若年者の食の変化により、歯科治療の内容も設立当時の状況とは大きく変化しているのが現状である。また歯科における知識や技術も著しい進歩を遂げており、歯科治療に欠かせない補綴物や矯正装置を作製する歯科技工士に対する教育もそれに併せて必要不可欠なものとなっている。それに伴いプロフェッショナルな歯科技工士として、知識、技術ともに歯科治療のニーズに応えられることはもとより、人間性や倫理観を兼ね備えた人材を作り上げて行くべく、本学科は厚生労働省認可の国家資格を有する歯科技工士養成学科として設置するものである。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
医療分野	職業実践専門課程	歯科技工学科	2年(昼間)	2264単位時間 (又は単位)	平成6年文部大臣告示第84号	平成27年度文部大臣告示第23号
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	750単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1514単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
100人	59人	10人	22人	32人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～翌3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 学説試験と実技試験	
長期休み	■学年始め：4月14日 ■夏 季：7月21日～8月20日 ■冬 季：12月21日～翌1月10日 ■学 年 末：3月21日			卒業・進級条件	授業科目各60点以上合格	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 クラス担任の指導の後改善が認められない場合は副校長が対処。父兄面談			課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動 (有・無)	

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 歯科医院、歯科技工所、材料商等</p> <p>■就職率<sup>※1</sup> 97%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合<sup>※2</sup> 83%</p> <p>■その他（任意） 卒業者の内、5名研修科進学</p> <p>（平成27年度卒業者に関する平成28年4月時点の情報）</p>	主な資格・検定	歯科技工士国家試験受験資格取得
中途退学の現状	<p>■中途退学者3名 ■中退率5%</p> <p>平成28年4月14日在学者 59名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月10日在学者 67名（平成27年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 家庭の事情 学業不振</p> <p>■中退防止のための取組 数回に亘る担任や教務部長によるカウンセリングや父兄面談等を行いながら中退の防止に努める</p>		
ホームページ	URL: <a href="http://www.toushigi.ac.jp/">http://www.toushigi.ac.jp/</a>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年11月15日現在

名 前	所 属
渡邊奈美	東北歯科技工専門学校 学校長
菅野恭助	東北歯科技工専門学校 副校長
小松 勝	東北歯科技工専門学校 副校長
八巻賢一	東北歯科技工専門学校 教務部長
神永聡	東北歯科技工専門学校 教務副主任
熊谷美恵子	一般社団法人宮城県歯科技工士会 副会長
大久田秀逸	一般社団法人宮城県歯科技工士会 専務理事
草薙恵介	くさなぎオーソテクニカル 代表

(開催日時)

第1回 平成28年8月24日 19:00~20:30

第2回 平成28年3月 (予定)

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
歯の解剖学	実際の歯科技工所内で行っている仕事に対して、学内における歯の彫刻とは違っているところが多々あるところから、そのギャップをうめる強化のための実習指導を行ってもらう。	青山デンタルラボ株式会社
選択必修科目	新しい技術や技工物製作用の材料を紹介してもらい、学生にその材料を実際に操作させて慣れさせる。	山本貴金属地金株式会社
矯正歯科技工学	矯正歯科技工物は一般歯科技工物の製作とは種類が違うので、デモを行いながら重点的に実習させる。	くさなぎオーソテクニカル
小児歯科技工学	小児歯科技工物は一般歯科技工物の製作とは種類が違うので、デモを行いながら重点的に実習させる。	くさなぎオーソテクニカル

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

全国歯科技工士教育協議会の教員研修会、講演会、新任研修会や日本歯科技工士会講演会等に積極的に参加させ、常に学生教育に必要な新知識、技術を研鑽させる

## 4. 学校関係者評価

(学校評価委員会の全委員の名簿)

平成28年10月26日現在

名 前	所 属
佐藤誠	一般社団法人宮城県歯科技工士会 会長
熊谷美恵子	一般社団法人宮城県歯科技工士会 副会長
大久田秀逸	一般社団法人宮城県歯科技工士会 専務理事
鈴木宏明	日本平歯科医院 院長
笠原紳	薬師堂歯科 院長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.toushigi.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.toushigi.ac.jp/>

(歯科技工専門課程歯科技工学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			歯科理工学	歯科技工で用いられる各種の歯科材料の特性を基礎から理解させ、それを知識を活かした正しい歯科技工物の製作ができる人物を育成するために講義と実験の両方から総合的に学習させる		220		142		78
○			歯の解剖学	一般解剖学では、骨、筋、腺、神経、脈管など、全身の知識を学び、人体に関する基礎知識 について、歯の解剖学では歯の形態、歯の発生、歯の組織について学ぶ		307		80		227
○			顎口腔機能学	顎の口腔機能ならびにその基礎に関する知識を修得し、歯科技工物の咬合形態と顎口腔機能との関連を理解する		60		34		26
○			有床義歯技工学	歯列の一部もしくは全部の欠損症例に対し、可撤式の義歯で修復し、口腔の機能ならびに審美性を回復するための学理ならびに歯科技工技術の習得をさせる		724		50		674
○			歯冠修復技工学	歯や歯列の形態回復する人工物をどのように製作するかを履修させ、患者の機能的、審美性をもつ歯冠修復物を製作するための知識と技術を習得させる		470		72		398
○			矯正歯科技工学	歯科矯正学の基本的知識、正咬合、異常咬合による審美的及び機能的障害を改善する目的で製作される治療用装置について学習する		34		10		24
○			小児歯科技工学	小児の発育過程、顎、顔面、口腔(歯、歯列、咬合)の正常な成長発育を目指し、小児の口腔に見られる疾患の予防と健康の保持に必要な知識を教授する		38		8		30
○			歯科技工士関係法規	歯科技工士法を中心に医療関連の法知識、歯科医療を通して国民の健康維持に寄与する重要な役割を担う職業であることを教え、歯科技工士に関する法令や国民の健康に関する関連法を学び、医療人としての認識を深める		22		22		
○			造形美術概論	歯科技工士に必要な美的感覚を短期間に養成するために粘土彫塑にて立体的な全体像をとらえる基礎技術を習得させ、歯型彫刻へ移行する前実習にしている		20				20

○		外国語	留学、留学生の受け入りなど外国人と臆することなく接し仕事に従事できるように歯科英語と最低限の日常的英会話を学習することを目標。	30		30		
○		歯科技工学概論	医療、歯科医療における「歯科技工」の役割、医療人としての心構え、専門科目の総論、歯科技工所などの行政指導についての認識を深める	56		56		
○		歯科技工実習	歯科技工実習(臨床的模擬実習)は、本校の2年課程の総仕上げとなるもので、総合的に包括的に臨床における知識と技術を修得させ、実社会の業務とのつなぎの教育を行う	522				522
○		選択必修科目	基礎および臨床の反復及び新しい技術や機器の紹介、操作方法などについて外部講師を招き講義またはデモを実施し、先端技術を目の当りにすることにより、学生に対し最新情報と最新技術を提供する	202				202
○		その他	歯科技工業務に関係する企業や将来勤務する技工所などの見学実習、心的また身的鍛錬を目的とするスポーツ大会、施設研修会などを行う	66				66
合計				科目	2771 単位時間( 単位)			